

学校法人未来学舎  
専門学校未来ビジネスカレッジ  
学校長 千村 重平  
(公印省略)

## 「平成28年度 自己点検評価報告書」の公表について

平成28年度における当校の自己点検・評価を行い、結果を別添報告書としてまとめました。

ここに、自己点検・評価報告書を公表いたします。

今後は、報告書にある改善事項等を真摯に受け止め、関係各位のご意見及びご指導を賜りつつ、全教職員一丸となって改善や工夫を図り、教育水準の更なる向上を目指して参りたいと思います。今後とも、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

学校関係者各位

学校法人未来学舎  
専門学校未来ビジネスカレッジ  
学校長 千村 重平  
(公印省略)

## 平成28年度 自己点検評価報告書の公表について

平成28年度における当校の自己点検評価を行い、結果を報告書としてまとめました。ここに、自己点検評価報告書として公表いたします。今後は、本報告書にある改善事項等を真摯に受け止め、関係各位のご意見及びご指導を賜りつつ、全教職員一丸となって改善や工夫を図り、教育水準の更なる向上を目指して参りたいと思います。今後とも、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

### 1. 学校の教育目標

本校の建学精神は、学校教育法及び専修学校設置基準に基づき、高等学校における教育の基礎の上に、職業もしくは实际生活に必要な技能と教養の向上を図るため、情報ならびに経営に関する専門的な教育を行い、社会の発展に寄与できる優秀な人材を育成することである。さらに本校の教育方針として、現代社会の要請、特に地元産業界の期待(地域貢献)に応えることのできる人材育成を目標に、実社会で要望され、企業で即戦力となるための技術・能力・知識を身につけさせる。同時に常識とマナーを備え、自由で明るく健康的(自由闊達)、さらに建設的な意志(未来志向)を持った社会人を育成する。具体的には、以下3つの言葉にて教育方針を表現し、その実現に向けたカリキュラムを構成する。

- ①未来志向(みらいしこう)
- ②地域貢献(ちいきこうけん)
- ③自由闊達(じゆうかつたつ)

また、学校法人未来学舎の法人理念として「とことん、いっしょに」を掲げ、学生及び家族の一人ひとりに対して親身になって支援することを目標としている。

### 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

本年度は以下を重点課題とした。

- ①現場業務の安定化と教員の充足
- ②委員会活動の継続
- ③企業意識(卒業生評価、教育に対する要望等)の調査継続
- ④卒業生支援の強化
- ⑤学生ボランティア活動支援の検討

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

#### (1)教育理念目標

評価基準:適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
1 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	4
2 学校における職業教育の特色は何か	3
3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
4 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
5 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

##### ①成果と課題

今まで手薄とされてきた保護者への学校情報周知を強化すべく、本校の教育理念や目標・特色などについて記載された「保護者向け学校パンフレット」を本年度から作成、年間を通して資料請求者などの保護者宛に子供用のパンフレットとは別便で発送している。またオープンキャンパス時には保護者用の説明会を設定して周知を図っており、アンケートによる感想も上々である。(広報部)

##### ②今後の改善方策

特になし。

#### (2)学校運営

評価基準:適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
1 目的等に沿った運営方針が策定されているか	2
2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	2
3 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2
4 人事、給与に関する規程等は整備されているか	3
5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
6 業界や地域社会等の要求に対するコンプライアンス(承諾・法令遵守)体制が整備されているか	3
7 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.5

##### ①成果と課題

- ・グループウェアの積極的活用により業務の効率が上がった。
- ・マルウェアに関する注意喚起及び情報提供により、職員のセキュリティ意識の向上が見られた。
- ・校内ネットワークのセキュリティ対策を行った。
- ・業務用メールを偽ってマルウェア(ウイルス等)を添付してくる事例が増えている。
- ・教務関連ソフトウェアのバージョンが古い。(以上 企画情報室)
- ・運営組織や意思決定機能に関してやや滞っている部分があり、改善の必要がある。また長期的視点に沿った運営計画の策定も併せて必要とされる。(以上 広報部)
- ・教育課程は公開しているものの、各科目のシラバスの公開にはいまだ至っていない。(以上 情報公開)

##### ②今後の改善方策

- ・引き続きマルウェアに対する情報提供と注意喚起を行っていく。
- ・パソコン操作やグループウェアの安全な利用に関する職員講習会を開催する。
- ・教務関連ソフトウェアの見直しを検討する。(以上 企画情報室)
- ・課題に上げた長期的な運営計画とそれを実現する新たな組織づくりへの模索が行われている。(以上 広報部)
- ・シラバス公開方法の検討を進め、次年度には実現したい。(以上 情報公開)

(3)教育活動

評価基準:適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか	3
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫開発などが実施されているか	3
5	関連分野の企業関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成見直し等が行われているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技実習等)が体系的に位置づけられているか	3
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制が、カリキュラムの中で体系的に位置づけられているか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2
12	関連分野における業界等との連携において、優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

①成果と課題

・教育課程編成委員会で各学科のカリキュラムが検討され、外部委員の意見等を反映したカリキュラムで授業を運営している。

・職員研修では専門分野の研修会に参加し、授業に反映されている。

・専門分野の研修日程が授業日と重なり参加が不可能な職員や、希望する分野の研修が無かったり、情報が少なく参加できない職員もいる。(以上 教務部)

・教員確保が難しい状況である。今後とも専門教育と学生指導のバランスの取れた人材を確保したい。(以上 管理本部)

・教育課程編成委員会は各学科ともに順調に機能しており、外部関係者からの評価体制は整っている。(以上 情報公開)

②今後の改善方策

・希望分野の研修会情報の情報収集に努め、日程の調整できる研修には参加し、個々の専門分野のスキルアップを目指す。(以上 教務部)

#### (4)学修成果

評価基準:適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
1 就職率の向上が図られているか	4
2 資格取得率の向上が図られているか	3
3 退学率の低減が図られているか	2
4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

##### ①成果と課題

・1月31日時点の就職率は90%をこえている。最近8年では1番高くなっている。今世紀当初並みの高水準である。また、学科間の就職率のバラつきがない。

・前年に引き続き企業にアンケートを実施する。就職部スタッフが求人開拓の際に企業経営者や採用担当者に話を聞く機会を設けている。時折顔を出す卒業生に対しても、時間のある限り仕事の話を書くようにしている。

・上記の評価、企業からの評価、学会などでの論調などを、一年生全員が受講する「キャリアプラン」の授業で反映させている。

・男女別就職率では、女子が圧倒的に高く、男子の頑張りが期待される。安易な内定辞退があり、「漫画家」という職種への対応に困惑している。

・アンケートは母数が少なく参考程度にしかならない。卒業生に対する評価も、良い評価は悪い評価に比べて届きにくい。伝聞形式になってしまうので、直接話を聞くのに比べてその効果が弱いと思われる。

・キャリア教育は効果の測定が難しく、その成果が本人・周囲共に把握しにくいので、手探りでやらざるを得ない場面もある。(以上 就職部)

・昨年度同様年間2回、hyper-QU実施することにより退学の危険がある学生や支援の必要な学生の抽出を行っている。

・支援の必要な学生の抽出を行っているが、そもそもそういった学生は真剣にQUに取り組んでいないことも多いため、しっかりした状況把握は難しい。やる気の喪失や友達関係のみならず、家庭の経済状態、家庭問題、学習障害、精神疾患による退学や休学が年々増加しており、今までとは異なる対処が重要となる。(以上 学生相談)

##### ②今後の改善方策

・3月31日に就職率100%が目標なので、サポートの基本である、時間をかけた一人一人への丁寧な対応を心掛ける。また、「学生vs担任」、「学生vs就職部」だけでなく、相性や話し易さなどを考慮したサポート体制の検討を行う。

・アンケートの取り方を工夫する。また、求人依頼だけでなく、卒業生採用実績のある企業には年1回程度の定期的顔出しを、役員・役職者、現場の先生などと協力・分担して行う。

・クラス担任、現場で教えている専門科目の教員との役割分担。また、キャリア教育担当者の自己研鑽に加えて、特に担任教員にもキャリア教育と言う意識をもっと持ってもらう機会の設定をしたい。(以上 就職部)

**(5)学生支援**

評価基準:適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	3
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	2
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	3
7	保護者と適切に連携しているか	3
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

**①成果と課題**

・既卒者を対象とした求人情報をまとめる。また、相談のあった既卒者のキャリア相談や情報提供を行う。  
 ・企業からの問い合わせや中途求人はもらうが、SNSなどを通じて情報過多の時代であり、景気がある程度良くなっているため、既卒者からの相談もほとんどない。(以上 就職部)  
 ・担任のみで対処が困難で特別な支援を要すると思われる学生を各学年会等で抽出、情報共有を行い、学校および外部カウンセラーによる対応を昨年来継続している。  
 ・就職活動においては、保護者と学生との意思疎通が図られておらず、担任が両者の間に入らざるを得ないことがたびたびあるが、家庭問題なのか、就職指導なのかの境界が不明瞭である。また、保護者との信頼関係構築において、担任により差があるように感じる。(以上 学生相談)  
 ・日本学生支援機構奨学金制度、分納制度の利用者の割合は増加傾向にあり、事務手続きが煩雑になっているが、きめ細かな対応が、学生の変化をキャッチし、休退学の予防につながるため、体制の見直し、事務処理の効率化も必要。  
 ・授業料免除にかかる制度への関心が高まり、希望も増えているが、応えられる状況は厳しいものとなっている。(以上 事務局)  
 ・イベントの1ヶ月前に概要を決定し、全校に告知することについては、前年度につづいて意識高く実行できたと感じている。  
 ・前年度を踏襲し、毎年同じことの繰り返しとなっているため、学生の質や人数にたいして柔軟に対応できているかは疑問であるため、担当講師ともよく打ち合わせを深く密にし、イベントの質を向上していきたいと考える。(以上 学生部会)

**②今後の改善方策**

・学校HP上にリンクを作ったり。卒業時に卒業後もキャリア・就職相談に学校に来るように促す。(以上 就職部)  
 ・学生の抱える精神的または経済的問題が多様化しており、対処に困難を極めるケースも増加しているため、それぞれの問題に精通し、対応できる専門家(例えば、家族関係が得意、学習障害が得意、など)の層を厚くする必要性を感じる。また、保護者と担任との関わり方に最低限のルールが必要だと考える。(以上 学生相談)  
 ・事務手続きが効率的になるデータ処理の検討。  
 ・経済的支援が必要な学生の動向について、共有の範囲を広げることも必要なのではないかと。  
 ・特待生など授業料免除の財源の一部を同窓会に求めることを検討してみてもどうか。(以上 事務局)

**(6)教育環境**

評価基準:適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
1	施設設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3
3	防災に対する体制は整備されているか	3

**①成果と課題**

・避難訓練を本校舎及び各実習棟で実施した。(9月1日)  
 ・冬季中の凍結対策として駐車場東側にある縦樋の修繕や実習棟ではタイマーによる暖房をすることで凍結を防止できた。  
 ・避難経路に駐輪スペースがあり、駐輪方法によっては避難経路の妨げになる場合があるので対策が必要である。その他避難経路の安全確認や授業時間以外での災害時の避難等の対策を考え、災害時に学生及び職員が安全に避難できるような計画を立案をする。(以上 教務部)  
 ・施設設備の故障等、教職員間での連絡が不十分。(以上 事務局)

**②今後の改善方策**

・校内のハザードマップを作成し、災害時の避難経路はもちろん日常生活も安全に過ごせるようにする。(以上 教務部)  
 ・教室、備品の管理者を見直すなど、教職員全員が施設維持への関心が持てるような仕組みを作る。(以上 事務局)

(7)学生の受入れ募集

評価基準:適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4

①成果と課題

・年間を通しての高校訪問で在校生の教育成果は細かく伝えられている。またSNSや新聞報道も活用して広く社会への宣伝が行われた。  
 ・WEB戦略に関して、2016年度は専門業者のコンサルティングを受け、限られた予算の中で改善を試みたが、十分な成果が見られたとは言い難い状況である。(以上 広報部)  
 ・平成29年度より、平成24年の消費税増税に伴う経費の増加に対応して授業料を改定することにした。(以上 管理本部)

②今後の改善方策

・WEB戦略に関して、専門業者のコンサルは次年度は実施しない予定であるが、一年間のコンサルで培ったノウハウを整理して実施し、引き続き改善の努力を継続したい。(以上 広報部)

(8)財務

評価基準:適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

	評価項目	評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2
2	予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4

①成果と課題

・財務情報は公開されており、収支計画も妥当なものとなっている。  
 ・2016年度は、学生在籍人数が前期比で減少しており、2017年度も大幅な改善は見込めない。在籍学生数の減少に伴う学生納付金の減少により中長期の財政基盤がやや不安定になっている。(以上 管理本部)

②今後の改善方策

・魅力ある学科にするため、授業内容の見直しや改善に取り組む。また、学校・法人が最優先で学生募集活動を行う。(以上 管理本部)

(9)法令等の遵守

評価基準:適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目		評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
4	自己評価結果を公開しているか	4

①成果と課題

・自己点検評価の実施、公開の体制は確立しているが、点検に基づく改善を明確に意識した行動計画にはなかなかつながらない。(以上 管理本部)

②今後の改善方策

・自己点検から改善活動までの流れを整理する手順を確立しなければならない。(以上 管理本部)

(10)社会貢献・地域貢献

評価基準:適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目		評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
3	地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

①成果と課題

・公共の職業訓練の受託に関しては、積極的に実施をした。(以上 広報部)  
 ・学科単位により職員、学生が一体となり地域貢献に努めている。また、継続的な取り組みによる地域住民向けバザーの実施や、学校公開日での各専門分野の体験、見学は好評であった。  
 ・地区清掃として、田川の清掃や近隣のゴミ拾いを春と秋に実施した。(年2回)  
 ・公共教育訓練を受託し地域の人材育成に努めている。  
 ・学校公開日での駐車場確保が困難である。  
 ・雑草等の育成が早く秋の地域清掃が大変であった。(以上 教務部)

②今後の改善方策

・地域清掃を年3回として夏季にも計画する。  
 ・学科、専門分野だけのボランティア企画では職員の負担になるので、複数学科でコラボしたものや法人全体での企画を検討したい。(以上 教務部)



#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

##### (1) 今年度の重点課題に対する対応状況

今年度は以下を重点課題とした。

- ① 現場業務の安定化と教員の充足
- ② 委員会活動の継続
- ③ 企業意識(卒業生評価、教育に対する要望等)の調査継続
- ④ 卒業生支援の強化
- ⑤ 学生ボランティア活動支援の検討

今年度の対応状況は以下のようである。

##### ① に関して

現場業務は何とか安定させ、学生サービスの低下につながらないよう運営できた。一方教員不足の充当は引き続き続けざるを得ない状況になっている。

##### ② に関して

継続しているが、業務の中で折に触れての活動が主体であり、独自の活動企画になかなかつながらない。通常業務で手一杯になっている委員が多い。

##### ③ に関して

本年度は組織的な企業アンケートは企画しなかった。就職部の情報収集活動が主体であった。

##### ④ に関して

HP上に掲示板などを設ける提案は検討中でまだ実現できていない。一方、景気回復の影響か、既卒者からの問い合わせ自体も減少傾向であった。

##### ⑤ に関して

本格的な活動にはまだつながらないものの、地域清掃等にも全学生が参加する形にするなど、少しずつボランティアの研究を進めている。

## (2) 学校関係者評価委員会(第3回)での意見の活用状況

### 学校関係者評価委員会での業務改善に対するご意見

- ・学生募集を課題に加えてほしい。
- ・求職中の卒業生を地元企業に紹介できるよう、卒業生支援の強化に期待したい。
- ・未来ビジネスカレッジという専門学校の社会への周知を図るべく、外部での成果発表等を含めた情報発信を積極的に行うべき。
- ・目的意識を持った学生を獲得するためにもシラバス等の公開は積極的に行うべき。
- ・専門学校らしいカリキュラムと教育活動を行っていると感じられる。
- ・学生のマナー低下を感じることもある。名刺の受け渡し、ビジネスメール、訪問マナー等、基礎的なビジネスマナー教育や一般常識に関する教育を強化実施し、学校のイメージアップにもつなげてほしい。
- ・地元企業やネイティブで話せる先生の起用等は積極的に行っていると感じるが、さらに専門性を高めるためのスキルアップを常勤・非常勤を問わず推進してほしい。
- ・引き続き、常勤・非常勤を問わず職員間の情報交換に努めてほしい。
- ・教員の異動・不足が学生指導への影響を及ぼさぬよう努力してほしい。
- ・退学率の低減や就職率の向上に学校としての工夫が感じられる。一方で地元への就職を増やす努力をしてほしい。
- ・学生のアルバイトについては、退学につながるものもあるので注意が必要。
- ・企業アンケートの効果をあげるため、FAXや5段階評価、○×形式など返信しやすい方法を採用してはどうか。
- ・学生支援については学校としての取り組みに努力を感じる。
- ・就職支援をさらに強化し、学生のやりたい仕事とのマッチングをより実現してほしい。
- ・学費サポートの必要な学生が増えていると思われる。対応を充実させ、学校生活の満足度向上と退学率の減少につなげてほしい。
- ・卒業生との情報交換や中途求人のお知らせ、卒業生も検討してほしい。卒業生の連絡手段としては、ログイン式、HP、データベースを活用するのも効率的かと思う。
- ・防災に関して学校独自の防災パンフレットのようなものがあるといいと思う。
- ・専門学校と専門職の魅力、高校生や中学生などこれからの世代に伝え、目的意識を持った学生の募集につなげてほしい。
- ・部門や学科が連携して魅力的な学校づくりに取り組むとともに、地元の松本市民にもっと認知してもらえるよう努力してほしい。
- ・HP、パンフレットについても工夫を重ねて、新鮮な印象づくりに努めてほしい。
- ・学納金の改定は学校の質の確保のためにも必要と思われる。
- ・学生募集については、部門・学科での連携が大切だと思われる。
- ・学校で学んでる事を見える形として、地元の皆さんも参加できるイベントがあれば良い。
- ・学生ボランティア活動を推進するためにも学生の自主性を高める努力が必要。
- ・企画・取組について外部のプロの意見を聞いてみることもマンネリ化を避けるためには有効と思われる。
- ・地域交流・ボランティア活動などは法人3校で協力してみても良いと思う。
- ・せっかく様々な学科があるので分野・学科の垣根を越えたコラボレーション教育を実現してほしい。

下記は、各ご意見への対応状況。

- ・学生募集に総合的に取り組んだ結果、昨年比17%増の成果を得られた。
- ・学生企画のウェディング、企業との合同プロジェクト、学生サロン、学外での卒研発表会、学校公開などを通じて  
学校周知のための情報発信に取り組み、社会への露出機会が増えた。学科間のコラボも進められた。
- ・学生のマナー向上に重点的に取り組んでいる。
- ・職員のスキルアップのため研修を奨励している。今年度も多くの研修に職員を派遣した。
- ・現場の安定化を最優先に図った。年度末になりようやく安定の兆しが得られた。
- ・退学率低減のためカウンセリングや担任のバックアップ等に努めたが、1年次生の退学率は昨年度を上回った。  
不適応、家庭事情が大半を占め、対応の難しさを感じている。
- ・卒業生との情報交換手段としてHPや同窓会の活用を模索しているが、現在も研究中。
- ・防災マニュアルについて引き続き研究を続けている。
- ・清掃ボランティアを通じて地域とのつながりを模索している。次年度も引き続き行う。

(3) 来年度の重点課題について

来年度は以下を重点課題とする。

- ① 現場業務をさらに安定化させ、教員を充足する。
- ② 募集効果の向上を目指す。
- ③ 情報セキュリティの向上を目指す。
- ④ 質保証の体制づくりを始める。

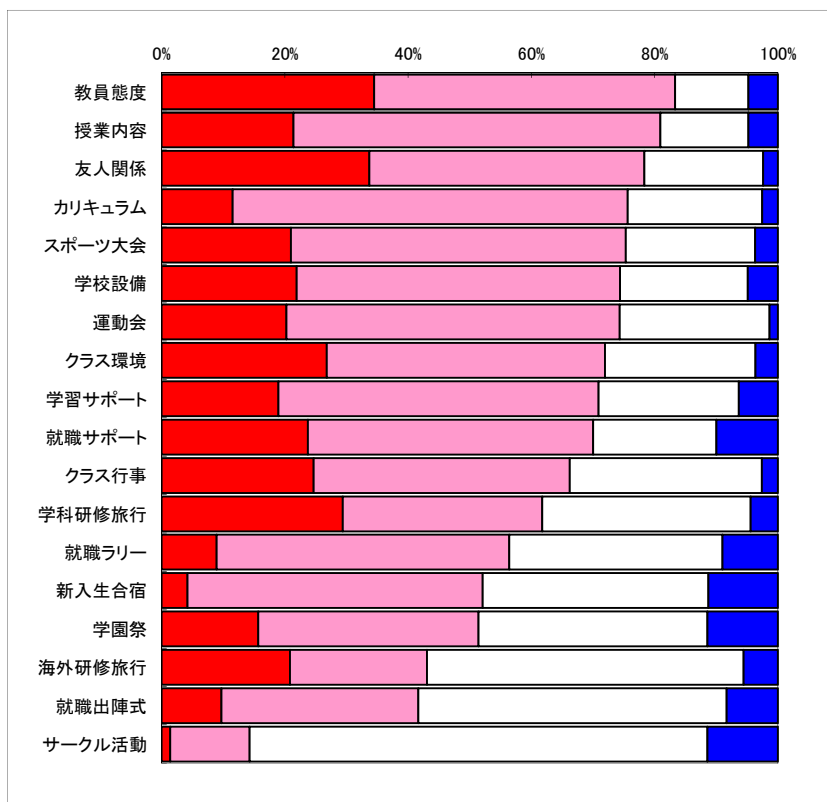
# 【卒業生学校評価アンケート結果（2002年～2016年卒業生）】

専門学校未来ビジネスカレッジ

## 1. 学業生活上の評価

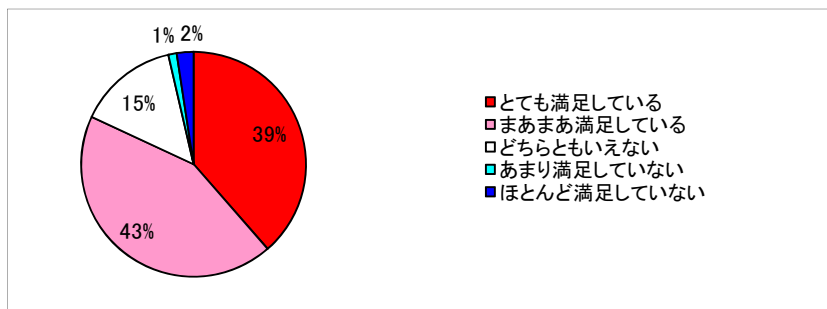
- 教員態度
- 授業内容
- 友人関係
- カリキュラム
- スポーツ大会
- 学校設備
- 運動会
- クラス環境
- 学習サポート
- 就職サポート
- クラス行事
- 学科研修旅行
- 就職ラリー
- 新入生合宿
- 学園祭
- 海外研修旅行
- 就職出陣式
- サークル活動

特に良かった  
良かった  
どちらともいえない  
改善してほしい



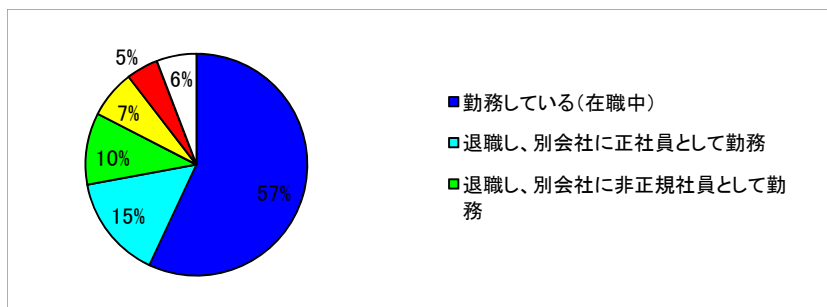
## 2. 学業生活の満足度

- とても満足している
- まあまあ満足している
- どちらともいえない
- あまり満足していない
- ほとんど満足していない



## 3. 卒業後、初めて就職した企業への勤務状況

- 勤務している(在職中)
- 退職し、別会社に正社員として勤務
- 退職し、別会社に非正規社員として勤務
- 退職し、現在、無職
- 卒業後、一度も正社員に就いていない
- 結婚のため退社(育児中)



# 学校自己点検・評価による保護者アンケート結果(1学年)

専門学校未来ビジネスカレッジ

実施期間:平成29年3月16日～3月31日

評価項目	4:かなり満足 3:ほぼ満足 2:やや不満 1:かなり不満 N:良くわからない						在校生数	1年
							回答者数	1年
							回答率	1年
							無回答	33.0%
質問内容		4	3	2	1	N	無回答	平均
1	資格取得のための指導は適切に行われていると思いますか。	25.0%	62.5%	3.1%	0.0%	9.4%	0.0%	3.2
2	学校が目指している法人スローガン・教育方針について、その方向性(教育理念)に満足しておられますか。	15.6%	68.8%	0.0%	0.0%	15.6%	0.0%	3.2
3	本校で学ばせることに満足しておられますか。	46.9%	46.9%	3.1%	0.0%	3.1%	0.0%	3.5
4	学校は、保護者の要望によく応えていますか。	28.1%	53.1%	0.0%	0.0%	18.8%	0.0%	3.3
5	学校は、学生の教育活動(成績・出席状況等)の様子を適時知らせていると思いますか。	46.9%	46.9%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4
6	学校が保護者に出す文章・事務連絡等は適切ですか。	34.4%	62.5%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3
7	学生が満足するよう、学校生活の工夫をしていると思いますか。	18.8%	65.6%	0.0%	0.0%	15.6%	0.0%	3.2
8	職員は、職責感を持って、指導の充実に努力していると思いますか。	34.4%	53.1%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	3.3
9	職員は、学生、保護者の方々に誠意を持って接していると思いますか。	34.4%	53.1%	3.1%	0.0%	9.4%	0.0%	3.3
10	知識の修得を図るための効果的な学習指導が行われていると思いますか。	43.8%	46.9%	3.1%	0.0%	6.3%	0.0%	3.4
11	就職して即実践に役立つような技術の指導が行われていると思いますか。	28.1%	56.3%	0.0%	3.1%	12.5%	0.0%	3.3
12	学生の相談に関する体制は整備され、有効に機能していると思いますか。	21.9%	59.4%	0.0%	3.1%	15.6%	0.0%	3.2
13	実社会に出て即対応できるようなマナーや躰等を含めた人間形成の教育が行われていると思いますか。	15.6%	75.0%	3.1%	0.0%	6.3%	0.0%	3.1
14	就職などに対する指導体制は整備され、有効に機能していると思いますか。	12.5%	68.8%	3.1%	0.0%	15.6%	0.0%	3.1
15	施設設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されていると思いますか。	37.5%	53.1%	3.1%	0.0%	6.3%	0.0%	3.4

# 学校自己点検・評価による保護者アンケート結果(2学年)

専門学校未来ビジネスカレッジ

実施期間:平成29年3月9日～3月31日

評価項目	4:かなり満足 3:ほぼ満足 2:やや不満 1:かなり不満 N:良くわからない						在校生数	2年
							回答者数	2年
							回答率	2年
							無回答	16.2%
質問内容		4	3	2	1	N	無回答	平均
1	資格取得のための指導は適切に行われていると思いますか。	31.6%	52.6%	10.5%	5.3%	0.0%	0.0%	3.1
2	学校が目指している法人スローガン・教育方針について、その方向性(教育理念)に満足しておられますか。	26.3%	57.9%	5.3%	0.0%	10.5%	0.0%	3.2
3	本校で学ばせることに満足しておられますか。	31.6%	57.9%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2
4	学校は、保護者の要望によく応えていますか。	15.8%	63.2%	5.3%	0.0%	15.8%	0.0%	3.1
5	学校は、学生の教育活動(成績・出席状況等)の様子を適時知らせていると思いますか。	42.1%	52.6%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4
6	学校が保護者に出す文章・事務連絡等は適切ですか。	42.1%	52.6%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4
7	学生が満足するよう、学校生活の工夫をしていると思いますか。	10.5%	78.9%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0
8	職員は、職責感を持って、指導の充実に努力していると思いますか。	31.6%	63.2%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	3.2
9	職員は、学生、保護者の方々に誠意を持って接していると思いますか。	36.8%	52.6%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3
10	知識の修得を図るための効果的な学習指導が行われていると思いますか。	31.6%	63.2%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	3.3
11	就職して即実践に役立つような技術の指導が行われていると思いますか。	36.8%	52.6%	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%	3.3
12	学生の相談に関する体制は整備され、有効に機能していると思いますか。	36.8%	57.9%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3
13	実社会に出て即対応できるようなマナーや躰等を含めた人間形成の教育が行われていると思いますか。	31.6%	63.2%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3
14	就職などに対する指導体制は整備され、有効に機能していると思いますか。	36.8%	52.6%	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3
15	施設設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されていると思いますか。	42.1%	47.4%	5.3%	0.0%	5.3%	0.0%	3.4

# 学校自己点検・評価による保護者アンケート結果(全校)

専門学校未来ビジネスカレッジ

実施期間:平成29年3月9日～3月31日

評価項目	4:かなり満足 3:ほぼ満足 2:やや不満 1:かなり不満 N:良くわからない						在校生数	全校
							回答者数	全校
							回答率	全校
							無回答	21.3%
質問内容		4	3	2	1	N	平均	
1	資格取得のための指導は適切に行われていると思いますか。	27.5%	58.8%	5.9%	2.0%	5.9%	0.0%	3.2
2	学校が目指している法人スローガン・教育方針について、その方向性(教育理念)に満足しておられますか。	19.6%	64.7%	2.0%	0.0%	13.7%	0.0%	3.2
3	本校で学ばせることに満足しておられますか。	41.2%	51.0%	5.9%	0.0%	2.0%	0.0%	3.4
4	学校は、保護者の要望によく応えていますか。	23.5%	56.9%	2.0%	0.0%	17.6%	0.0%	3.3
5	学校は、学生の教育活動(成績・出席状況等)の様子を適時知らせていると思いますか。	45.1%	49.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4
6	学校が保護者に出す文章・事務連絡等は適切ですか。	37.3%	58.8%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3
7	学生が満足するよう、学校生活の工夫をしていると思いますか。	15.7%	70.6%	3.9%	0.0%	9.8%	0.0%	3.1
8	職員は、職責感を持って、指導の充実に努力していると思いますか。	33.3%	56.9%	3.9%	2.0%	3.9%	0.0%	3.3
9	職員は、学生、保護者の方々に誠意を持って接していると思いますか。	35.3%	52.9%	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%	3.3
10	知識の修得を図るための効果的な学習指導が行われていると思いますか。	39.2%	52.9%	2.0%	0.0%	5.9%	0.0%	3.4
11	就職して即実践に役立つような技術の指導が行われていると思いますか。	31.4%	54.9%	2.0%	2.0%	9.8%	0.0%	3.3
12	学生の相談に関する体制は整備され、有効に機能していると思いますか。	27.5%	58.8%	2.0%	2.0%	9.8%	0.0%	3.2
13	実社会に出て即対応できるようなマナーや躰等を含めた人間形成の教育が行われていると思いますか。	21.6%	70.6%	3.9%	0.0%	3.9%	0.0%	3.2
14	就職などに対する指導体制は整備され、有効に機能していると思いますか。	21.6%	62.7%	5.9%	0.0%	9.8%	0.0%	3.2
15	施設設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されていると思いますか。	39.2%	51.0%	3.9%	0.0%	5.9%	0.0%	3.4